

第71回

# 高知市文化祭

## 報告書

〔平成31年度〕

第71回高知市展オープニングセレモニー（令和元年5月25日／かるぽーと）



高知市文化祭執行委員会



# 目 次



高知市文化祭執行委員名簿	.....	2
高知市文化祭主催行事	.....	3
高知市文化祭参加行事数・入場者数	.....	6
参加行事報告		
映像部門参加行事	.....	7
演劇部門参加行事	.....	8
音楽部門参加行事	.....	10
舞踊部門参加行事	.....	13
展示部門参加行事	.....	14
文芸部門参加行事	.....	15
その他の参加行事	.....	16

## 第71回高知市文化祭執行委員会

	区 分	氏 名	備 考
芸 術 文 化 部 門	映 像	岡 本 賀 行	高知県興行生活衛生同業組合
	演 劇	北 村 絵 理	NPO法人高知市こども劇場理事
		小 林 容 子	高知能楽会会長
		吉 本 智 賀 子	劇団ゆまにて代表
	音 楽	黒 岩 千 賀	高知交響楽団事務局長
		高 橋 輝 雄	高知県民謡協会会長
		松 村 紫 乃	高知県三曲協会会長
	舞 踊	伊 野 友 美 子	モダンダンス伊野友美子舞踊研究所代表
		花 柳 昌 延	高知県日本舞踊協会会長
	展 示	猪 野 一 鐘	高知県華道協和会専務理事
	文 芸	上 本 竹 永	高知県漢詩連盟会長
		丁 野 貢 一	高知ペンクラブ事務局長兼会長代理
	市 展	下 山 郁 夫	高知市展代表委員長
	まんが	山 北 美 砂 子	高知漫画集団事務局
	県立美術館	中 村 麻 莉	高知県立美術館学芸員
文化協会	高 橋 啓 継	高知市文化協会事務局長	
報 道	高知新聞	又 川 晃 世	高知新聞社学芸部長
	NHK	大 塚 秋 人	NHK高知放送局放送部長
	高知放送	久 保 田 浩 史	高知放送報道制作局専任局長兼解説委員
	テレビ高知	和 田 敦 子	テレビ高知報道・技術センター次長・報道担当
	さんさんテレビ	根 岸 幸 弘	高知さんさんテレビ報道制作局長
	高知新聞企業	西 村 祥 央	高知新聞企業文化事業局次長兼事業企画部長

委員長 高橋 輝雄

副委員長 上本 竹永 ・ 北村 絵理

監 査 黒岩 千賀 ・ 山北 美砂子

第71回高知市文化祭開幕行事  
「大正琴でつづる日本の曲」

**第71回高知市文化祭開幕行事**  
**大正琴でつづる日本の曲**  
**「大正琴演奏」**  
 出演／大正琴あじさい会、紫派 藤間流 藤間紫公・藤間公佳、岡田直也、大井政子  
**第一部 音楽劇**  
**「弘田龍太郎のわらべ日記」**  
 出演／大正琴あじさい会、安芸児童合唱団はまゆう、劇団ゆまにて、劇団the創  
 企画制作／高知文化協会  
 高知市文化祭実行委員会  
 高知市文化協会  
 高知市文化振興事業団  
 高知市教育委員会  
 高知新聞社・RKC高知放送・KUTVテレビ高知・NHK高知放送局  
 KSSさんさんテレビ  
 (お問い合わせ) 高知市文化振興事業団 TEL.088-883-5071

平成31年 **4月14日(日)**  
 午後1時開場 / 午後1時30分開演  
 高知市文化プラザかるぽーと [大ホール]  
**入場料 無料**  
 \*先着300名様に大正琴あじさい会から手づくりのプレゼント贈呈

- ◇日 時 平成31年 4月14日(日) 13:30開演
- ◇場 所 高知市文化プラザかるぽーと大ホール
- ◇入場料 無料
- ◇主 催 高知市文化祭執行委員会、高知市文化協会、大正琴あじさい会
- ◇主 管 公益財団法人高知市文化振興事業団、高知市教育委員会
- ◇後 援 高知新聞社、RKC高知放送、KUTVテレビ高知、NHK高知放送局、KSSさんさんテレビ
- ◇出演者 大正琴あじさい会、紫派 藤間流 藤間紫公・藤間公佳、岡田直也、大井政子、安芸児童合唱団はまゆう、劇団ゆまにて、劇団the創 計49人
- ◇入場者 400人

# 第71回 高知市展

- ◇開催日 令和元年5月25日(土)～6月9日(日)
- ◇会場 高知市文化プラザかるぽーと 7階市民ギャラリーほか
- ◇入場料 前売300円 当日400円
- ◇鑑賞者 2,627人
- ◇こどもアートまつり「あなたダビンチ ぼくピカソ」 6月2日(日)午後1時～4時  
前広場テント5部門5ブース・中央公民館内4部門5ブース(計9部門10ブース) フリーパスポート500円(384枚)



◇出品者・出品点数・イベント参加者

部 門	出品者(前回)	出品点数(前回)	北見市 交流作品	こどもアートまつり 参加ブース名	参加者数
絵 画	75 (87)	95 (104)	4 (4)	つなげよう!そだてよう!	900
日本画	27 (27)	30 (31)	3 (3)	小さな木箱にペインティング	500
書 道	128 (131)	128 (131)	10 (10)	筆と遊ぼう	700
先端美術	15 (16)	16 (17)			
彫 刻	39 (34)	53 (46)		せっこうおにぎり	480
陶 芸	44 (50)	86 (95)	3 (3)	粘土で遊ぼう!	380
工 芸	44 (52)	55 (68)		ぼかし染めで遊ぼう	200
写 真	67 (63)	117 (104)	11 (11)	紙箱カメラをつくってみよう	110
ペン字	68 (80)	75 (82)		文字を楽しく書こう	140
デザイン	9 (14)	11 (18)		楽しいキーホルダー作り	450
				村岡マサヒロ先生と4コマ まんがを楽しもう	40
合 計	516 (554)	666 (696)	31 (31)		3,900

# 第71回 高知市展 関連行事

子ども対象の美術体感イベントとは別に、部門の振興を図ることを目的に研究会や講習会を開催。

## 講習会

部 門	日 程	参加者	会 場	内 容	
彫 刻	全身	3/5(火)~3/31(日)	10人	絵画室	18:00~20:30の全12回
	頭 像	3/30(土)~4/20(土)	10人	彫塑・陶芸室	18:00~20:30の全13回
陶 芸	4/7(日)	20人	彫塑・陶芸室	「一日作陶体験会」 講習会作品として市展会場に展示	
工 芸	4/7(日)	16人	工芸室	「型染めでエコバッグを作ろう」 講習会作品として市展会場に展示	
デザイン	4/21(日)	6人	第2学習室	「第5回まんが家体験プレまんが絵師Lesson」 講習会作品として市展会場に展示	
絵 画	4/28(土)	7人	絵画室	「絵画技法材料研究 支持体篇~いろんな素材に描いてみよう~」講習会作品として市展会場に展示	
日本画	5/12(日)	15人	絵画室	「岩絵具で源氏物語を描いてみよう！」 講習会作品として市展会場に展示	
先端美術	5/26(日)	40人	第3学習室	現代美術二等兵講演会 「たどりついたらいつも駄美術」	



## 研究会

部 門	日 程	参加者	会 場	内 容
デザイン	5/26(日)	2人	展示会場	実際の作品の前で、出品作品の講評と研究
書 道	5/26(日)	約30人	展示会場	実際の作品の前で、出品作品の講評と研究
	6/8(土)	約30人		
絵 画	6/9(日)	約30人	展示会場	実際の作品の前で、出品作品の講評と研究
日本画	6/9(日)	約25人	展示会場	実際の作品の前で、出品作品の講評と研究
彫 刻	6/9(日)	約40人	展示会場	実際の作品の前で、出品作品の講評と研究
陶 芸	6/9(日)	約15人	展示会場	実際の作品の前で、出品作品の講評と研究
写 真	6/9(日)	約35人	展示会場	実際の作品の前で、出品作品の講評と研究
ペン字	6/9(日)	約15人	展示会場	実際の作品の前で、出品作品の講評と研究



参 加 行 事

文化祭参加行事数・入場者数等集計表

部 門	行事数	入場者数	参加行事助成額	行事区分
映 像	2 (2)	206 (178)	60,000 (60,000)	共 催 2
演 劇	8 (6)	2,722 (2,246)	419,600 (299,400)	共 催 6 後 援 1 名義共催 1
音 楽	14 (15)	3,712 (6,149)	593,800 (693,800)	共 催 11 後 援 2 名義後援 1
舞 踊	3 (3)	1,190 (1,080)	280,000 (250,000)	共 催 2 後 援 1
展 示	5 (5)	7,153 (6,761)	310,300 (352,500)	共 催 3 後 援 1 名義後援 1
文 芸	4 (4)	628 (644)	250,000 (250,000)	共 催 4
その他	5 (5)	342 (412)	201,300 (198,400)	共 催 5
合 計	41 (40)	15,953 (17,470)	2,115,000 (2,104,100)	共 催 33 後 援 5 名義共催 1 名義後援 2

( ) 内は前回の実績数

※「その他」部門の入場者数は、文化祭参加興行映画の集計を含んでおりません。

## 映像部門

行事名	シネマな夜VOL.230「花咲くころ」		
日・時	4月17日(水) ①13:30 ②15:30 ③17:30 ④19:30		
会場	県立美術館ホール	入場者	119人
主催	シネマ・サンライズ/吉川修一		

近年、精力的に映画製作が行われているジョージア(旧グルジア)の作品。政情の不安定を反映して、社会不安と貧しさの中で、それでも青春を謳歌する14歳の娘たちの絆を描く。配給される物資の不足と突発的な暴力は、敗戦後の日本を思わせるものがある。監督は女性で、少女時代の実体験を基に脚本が綴られている。投獄されている父親に、娘のエカは初めて自分から会いに行こうとするのが、未来への希望の兆しだろうか。こういう作品に接すると、映画は“世界を知るためのひとつの窓”という思いを新たにします。

行事名	高知・民族文化映像研究所の映画をみる会 第32期(通算85回)上映会「アマルール-大地の人 バスク」		
日・時	6月23日(日) ①10:00 ②13:30		
会場	自由民権記念館民権ホール	入場者	87人
主催	高知・民族文化映像研究所の映画を見る会/松吉恵子		

32年目通算85回の上映会、バスク地方の記録ということで初めて観る方も多かったです。制作者の姫田監督を知っている人が20%と少なくなってきましたが、「アマルール-大地の人 バスク」の他に「遥かなる記録者への道」より抜粋第6章フランス編(18分)を追加上映しました。この映画では、彼の記録者と記録者としての視点・民映研の映画の目指すものが分かってもらえたように思いました。



## 演劇部門(1)

行事名 凜ロック				
日・時	5月11日(土) ①14:00 ②20:00 5月12日(日) ①14:00 ②17:00		今回は劇団初の4回上演を設定し、余裕を持った客席設営をすることで、観劇環境の向上と集客数増加にも努めた。 結果、集客は昨年より増加し、当日券の発行も余裕をもって行うことができた。 また、演劇祭KOCHI2019のオープニングセレモニーを初演と同時に行うことで、多くのお客様に高知での演劇活動周知を行え、セレモニーだけの来場もあったことは、今後の、高知での演劇活動に大きな弾みとなった。	
会場	蛸蔵	入場者		190人
主催	シャカ力/岡村実記			

行事名 喜多流回雪臺高知粟谷会 春の会				
日・時	5月12日(日) 13:00		会員の高齢化により、会員、演目数の減少は否めません。この会はプロの支えにより成り立っている団体です。若年者の勧誘に力を入れていますが、なかなか増加には至っていません。 仲間同士の技量を高めて観客をひきつけ、古典芸能の良さの周知存続に力を入れていく所存です。今後も積極的に会員増を図っていきます。	
会場	県立美術館能楽堂	入場者		約150人
主催	喜多流回雪臺高知粟谷会/岡部徳治			

行事名 高知市民劇場 第338回例会俳優座劇場プロデュース公演「ハーヴェイ」				
日・時	5月16日(木) 18:30 5月17日(金) 13:30		『ハーヴェイ』は、高知では30年ぶりの再演です。見えない大兎ハーヴェイが主人公の作品は30年前はファンタジーの要素がたっぷりの作品でした。そして今回のハーヴェイは、世の中には多様な人々が居て、互いに認め合うことが必要で、大切なことだと気づかせてくれる作品でした。 再演をするにあたって、「今の時代だからこそ描くハーヴェイがある」という創り手の思いも受け取ることができました。 ※中高生を招待する例会でした。	
会場	かるぽーと大ホール	入場者		1,030人
主催	高知市民劇場/石黒郁子			

行事名 高知市子ども劇場高学年例会 人形劇団むすび座「父と暮せば」				
日・時	5月17日(金) 19:00		映画・芝居・語りなどいろんなかたちで作品となってきたおはなしです。今回の人形劇では、俳優と人形遣いが役の結合と分離そしてまた再結合という一見複雑な構成を、調和のとれたアンサンブルで見せてくれました。終戦直後のつましい父娘のくらしの様子を喜劇タッチで描きつつ、人類の重大な罪を後世に語り継ぐ大切さが見えてくる作品でした。	
会場	かるぽーと小ホール	入場者		118人
主催	特定非営利活動法人高知市子ども劇場/岩原緑			

行事名 高知市子ども劇場低学年例会 劇団風の子中部公演「ぱらりっとせ」				
日・時	5月30日(木) 19:00 5月31日(金) 19:00		岐阜県を拠点に活動する劇団風の子中部。飛騨・美濃地方の伝統文化、中でも子どもたちの“あそび”を芝居仕立てで構成した作品でした。つづらを背負ってわらべうたを歌いながら3人の俳優が登場。お手玉・なわとび・竹馬・名産品加納の和傘を使って傘回しなど、リズムにのってくり出す妙技の数々。そして楽しい語りと三味線でつづる短篇芝居、岐阜の民話「はなさかこぞう」。素朴だけれどもじっくり遊ぶことの楽しさを味わいました。	
会場	かるぽーと小ホール	入場者		250人
主催	特定非営利活動法人高知市子ども劇場/岩原緑			

## 演劇部門(2)

行事名 第31回高知能楽会大会			
日・時	6月2日(日) 10:00~16:00		今回は6月にNHKの「こうちいちばん」で能楽堂、及び能楽堂での練習風景が紹介され、7月にはプロの能楽師による能楽鑑賞会の予定もあり、早くから皆様の関心が高まり入場者も大変多かった。今回は特に事前のPRについて好評を得られた。 8社中、連調3、素謡6、連吟3、仕舞13、独吟2の計27番の番組を各社中一生けんめい務めました。その勢い、その熱意がひしひしと伝わってきました。年齢が上がっていますが、皆様元気で務めてくれました。
会場	県立美術館能楽堂	入場者 300人	
主催	高知能楽会/小林容子		

行事名 永遠のイノセント			
日・時	6月5日(水)~8日(土) 19:30 6月9日(日) 13:00		実際にあった介護殺人事件をテーマにした重い芝居であったが、笑いと涙に包まれた感動的な舞台になった。今回は劇団初の5日間公演だったが、全公演満席となり、公演後もアンケートやSNSなど予想以上の反響と感想をいただき、この重いテーマと正面から向き合い、本気で取り組んできたことが間違いではなかったと、劇団員一同確信しました。 今後も魂を揺さぶるような作品を作っていきたい。
会場	蛸蔵	入場者 596人	
主催	カラクリシアター/谷山圭一郎		

行事名 シアターTACOGURA#018「6月の不条理」			
日・時	6月30日(日) ①14:00 ②18:00		不条理劇の巨匠E.イヨネスコ「授業」にチャレンジした。舞台上でこわれていく教授と女学生の会話と存在感のある女中。目を引いた舞台セット、オープニングの金づちの音の意味が作品最後に明かされる。けっしてエンターテインメント性が高い作品ではないが、来場者を圧倒し混乱させ爪痕を残せたと自負する。本拠地を飛び出してコンパクトな公演をしたことによって、脚本選定からスタッフワークなどもチャレンジングな作品作りができた。
会場	喫茶メフィストフェレス	入場者 88人	
主催	シアターTACOGURA/坂下直美		

## 音楽部門(1)

行事名	一絃琴わくら和遊紅会演奏会			
日・時	4月14日(日) 13:30～15:30		当日は雨でお客様は少なかったのですが、一絃琴の音色を心から楽しんで下さる方ばかりで本当にうれしく思いました。 プログラムも変化に富んでおり楽しくお聴き下さいました。 高知に一時期滞りされていた吉井勇の詞を作曲したものや、安芸市出身の弘田龍太郎の作曲「叱られて」「浜千鳥」「鈴蘭」も喜ばれました。現代曲の遠野四重奏は一絃琴・低音琴・ナレーション入りで大変盛り上がりました。まだまだ未熟ではありますが、いろいろな曲を演奏したく思います。	
会場	かるぽーと9階和室	入場者		36人
主催	一絃琴わくら和遊紅会/松本遊紅			

行事名	高知県ピアノ指導者協会2019年度例会コンサート 三田有輝也・岸本隆之介ピアノリサイタル			
日・時	4月23日(火) 18:30		当協会と札幌コンセルヴァトワールとの長きに亘る交流から、今回お二人をお迎えしてのピアノリサイタルが実現致しました。 三田有輝也さんはフランスものを中心に繊細で色彩感豊かな演奏で、また岸本隆之介さんはロマン派の大曲を披露し、その豊かな表現力で聴衆を魅了しました。今後も引き続き高知の皆様へ音楽の楽しさ、素晴らしさをお伝えするコンサートを企画していきたいと思っております。	
会場	県立美術館ホール	入場者		315人
主催	高知県ピアノ指導者協会/住友弘一			

行事名	第43回おしどり会民謡発表会			
日・時	4月28日(日) 13:00～16:00		昭和52年におしどり会を設立して、今年43回目の発表会。 会員の皆さんも年を重ね、荷物が重く大変でした。 日本の伝統文化を堪能し、バラエティーに富んだ催しものでした。	
会場	高知プリンスホテル	入場者		132人
主催	(公財)日本民謡協会 高知おしどり会/高橋輝雄			

行事名	第76回詩吟剣詩舞春季決勝大会 第62回優勝旗争奪競演決勝大会			
日・時	5月6日(月) 9:30		吟詠決勝大会及び剣詩舞優勝者模範演舞の大会として開催。吟詠は幼少年から116名が9組に分かれて、日頃の鍛錬結果を競いました。礼節を重んじる芸道の世界にあつて、舞台やその他のマナーも評価に影響することから、出場者は緊張の中にも肅々と登壇し、吟詠披露を行いました。 結果、全般的には進行もスムーズに行われ、受賞した出演者はもとより、今回残念ながら上位入賞を逃した方も充実した大会となったことでしょう。 吟剣詩舞道界にあつては、会員減少が叫ばれて久しいところではありますが、現在の会員が地道な精進と鍛錬継続を通じて、芸術性を高めて行くことが、将来への道筋と考えられ、継続的活動を推進していきたいと思えます。	
会場	県立美術館ホール	入場者		320人
主催	高知県吟剣詩舞道総連盟/竹内岳南			

## 音楽部門(2)

行事名 正曲一絃琴白鷺会 春の演奏会			
日・時	5月19日(日) 13:00~15:00		
会場	かるぽーと小ホール	入場者	約140人
主催	正曲一絃琴白鷺会/森本和子		
<p>今回も県内外からお客様をお迎えすることができました。今回は香川県一遥会の皆様の演奏もありました。また、出演者体調不良のため一曲変更となりましたが、息の合った演奏ができたと思います。鎌倉漱石の会会長菅佐原様もおいで下さり、聴いて頂きました。鎌倉漱石の会様とは「道草」の「一絃琴を習ったり」という一節が縁で、お稽古場でもある寺田寅彦記念館を通じ、当会との交流ができております。お客様からは、「知ってはいたが一本の絃から何とも言えない音色や歌が聴けて大変良かったです」「一絃琴独特の音が大好きです」「いつかは弾いてみたいと思います」等感想を頂きました。小さな事から少しずつ努力を重ね、県の伝統楽器でもある一絃琴を多くの方々を知ってもらべく、これからも精進して参りたいと思います。</p>			

行事名 女声合唱団Coro Belfiore 第6回定期演奏会			
日・時	5月25日(土) 14:00~16:00		
会場	春野文化ホールピアステージ	入場者	240人
主催	Coro Belfiore/高橋久美		
<p>当日は快晴に恵まれ、240余名のお客様を迎えて、第6回定期演奏会が多くの方々のご支援により開催できた事に感謝しております。昨年よりもステップアップしているとの声や、皆で歌おうも良かったと多くの声をいただき、達成感と喜びをかみしめています。日頃の大変だった練習も今では充実した時間だったと思えます。イベントにお声も掛かり、うれしい限りです。団員もますます元気になり、人数も増やしてハーモニーの幅を広げたいと考えております。</p>			

行事名 令和元年記念「三曲演奏会」			
日・時	5月26日(日) 13:30~16:00		
会場	県立美術館ホール	入場者	245人
主催	高知県三曲協会/松村紫乃		
<p>今年にはゲストに箏・三絃・十七絃演奏家松村エリナ、尺八演奏家坂田梁山の両師をお招きしました。いずれも今中央の第一線で活躍されている実力ある演奏家で充実感のある舞台となりました。演奏曲数はゲスト曲3曲、協会提曲2曲、協会会員提曲5曲の計10曲で、会員曲は新曲・古曲で構成しました。ご来場頂いた皆様からは好評の声が多く寄せられました。</p>			

行事名 やいろ吹奏楽団第24回定期演奏会			
日・時	6月1日(土) 18:30~20:30		
会場	かるぽーと大ホール	入場者	551人
主催	やいろ吹奏楽団/黒原夏彦		
<p>今年もクラシック、企画、ポップスの3部構成による演奏会でした。クラシックやポップスの演奏への好評も頂きましたが、昨年に引き続き当楽団ならではの企画ステージ(今回は24時間、1日を感じる吹奏楽企画)は演奏だけでなく、歌などの演出も含め、特に好評を頂くことができました。運営面、演奏面ともにより良いものになるよう、お客様から頂いたアンケートをもとに改善し、来年も魅力ある演奏会になるよう努めたいと思っております。</p>			

行事名 混声合唱団Pange第16回定期演奏会			
日・時	6月1日(土) 18:30		
会場	県立美術館ホール	入場者	255人
主催	混声合唱団Pange/上岡真土		
<p>今回の演奏会では、ビクトリアの「Ave maria」から始まり、大人から子供まで楽しむことのできる「鉄腕アトム」や「夜空ノムコウ」といった曲を集めた企画ステージや、混声合唱とピアノのための組曲「この星の上で」など、ジャンルを問わず様々な曲を演奏し、来場者の皆様にも大いに楽しんでいただくことができました。今後アンケート結果を集計し、来場者の意見を反映したステージづくりを検討したいと思っております。</p>			

## 音楽部門(3)

行事名 第80回秀鳳流日本吟詠会春季吟道錬成大会 第44回伝位別優勝旗争奪競吟大会			
日・時	6月2日(日) 10:00~17:00		
会場	高知プリンスホテル	入場者	60人
主催	秀鳳流日本吟詠会/野中秀鳳		

日本の伝統芸能としての吟詠の素材となる漢詩や和歌の魅力についての学びの講義をしたことで、より深くこの道を感じ取れたと思います。  
また中嶋先生、二代家元、宗家による講義は、精神道としての在り方も再度確認でき、尚一層の意欲を持たたと  
思います。  
午前中の競吟も日ごろの成果を体現する場として一人一人にとって良い経験となりました。これからも研修的な講座を取り入れたいと思います。

行事名 安芸土佐合唱同盟～音楽の夜明けは近いぜよ！～			
日・時	6月8日(土) 19:00		
会場	自由民権記念館アトリウム	入場者	50人
主催	Dios Anthos Choir/道原大貴		

当団が本会場を使用するのは初めてでしたが、アトリウムは響きの良さもさることながら、時間の経過によって日没で会場の明るさが変わっていくのが非常に好評でした。  
また、やなせたかし先生の詩による合唱曲を数多く取り上げ、その中でも合唱団ほっきり(ジョイント合唱団の1つ)の縄裕次郎氏が作曲した「生きる」は面白い演奏だったと多くの反響をいただきました。

行事名 土佐一絃琴同好会演奏会			
日・時	6月9日(日) 13:30~15:30		
会場	龍馬の生まれたまち記念館	入場者	40人
主催	土佐一絃琴同好会/野崎温子		

古典的とも云える一本のみの絃楽器を以って、静かなゆったりした音楽を奏することは言うに及ばず、複雑な新曲や、テンポの速い十三絃等の曲は選びたくても難しく、いつも残念な結果に終わってしまっています。  
来年は稽古を積んで、プログラムに加えたいものだと考えております。  
少人数故、演奏の形態にも一考を要しますが、理想とする演奏ができるように稽古を積んでゆきたく思っております。

行事名 第60回高知県合唱祭			
日・時	6月23日(日) 10:00		
会場	かるぽーと大ホール	入場者	790人
主催	高知県合唱連盟/坂本雅代		

今回は60回を記念し、ちょうど20年前の1999年に委嘱初演をおこなった混声合唱組曲「四万十川」から「川狩」を200人を超える合同合唱隊で演奏をしたことで、大変に盛り上がった。今なお合唱作曲界の第一人者である木下牧子先生に作っていただいた、高知を代表する自然を歌ったこの曲を歌い継いでいきたい。今年は30団体(ジュニア・小学・中学・高校・大学・一般・おかあさん)が参加し、クラシックやポップス、現代の前衛合唱曲まで様々な合唱曲が演奏されました。お目当ての合唱団以外の演奏でも、皆さん楽しんでいただけたようです。天候も開催中はかろうじて雨は降らず、気温は穏やかだったためか、昨年より多くの方にご来場いただけた。

行事名 高知マンドリン土曜日会第50回定期演奏会			
日・時	7月13日(土) 18:30~21:00		
会場	かるぽーと大ホール	入場者	538人
主催	高知マンドリン土曜日会/前田理絵		

50回目の記念の演奏会に相応しくソリスト二人を迎え、それぞれ特色を持った演奏会ができました。お客様にも楽しんでいただけたと思います。  
50年間活動を続けてこられたのも各方面の方々のご協力、ご支援のおかげだと会員一同感謝しております。  
メンバーも高齢化が進み、今後の展望ははけて明るくはありませんが、世代を引き継いで高知の町からマンドリンの音色を消さないようにがんばっていきたく思います。

## 舞踊部門

行事名	<b>第62回白鷺おどり</b>				
日・時	5月6日(日) 12:30		<p>将来性のある伝統文化子供教室の懸命な舞台、次代を担う若手舞踊家の日本舞踊コンクールへの挑戦、ベテラン師匠達の格調ある舞台と見応えの多い充実した舞踊会でした。</p> <p>コンクールの結果、市長賞に若柳智寿梨生の「玉屋」、高知新聞社賞に花柳菖蓮佳の「鐘の岬」が決定しました。</p>		
会場	かるぽーと大ホール	入場者			約700人
主催	高知県日本舞踊協会/花柳昌延				

行事名	<b>モダンダンス伊野友美子舞踊研究所公演「天津風」</b>				
日・時	5月25日(土) 13:30～15:00 17:00～18:30		<p>作品の振り付け、構成が上手くできたと思う。観客に伝わっていることが感じられて、少し安堵しています。</p> <p>薫的神社と踊りがマッチしていた様に思います。</p>		
会場	薫的神社	入場者			190人
主催	モダンダンス伊野友美子舞踊研究所/伊野友美子				

行事名	<b>坂東喜寿をどりの会</b>				
日・時	6月30日(日) 13:00		<p>高知市文化祭が始まり欠席することなくやって参りました。今年もたくさんの観客に来ていただき、皆様には楽しんでいただけたと思います。</p> <p>皆高齢ではありますが、一生懸命やっております。また来年も頑張っってやっていきたいと思しますので、よろしく願います。</p>		
会場	三里文化会館	入場者			300人
主催	坂東喜寿の会/坂東喜寿				

## 展示部門

行事名 平成31年高知県書芸院展			
日・時	4月5日(金)～10日(水) 10:00～18:00 (最終日は16:00)		会員、門下生の1年間の成果発表ができた。(39人、44点) 多くのご来場者からの助言などをもらい、今後への取り組みに大いに参考となった。
会場	高新画廊	入場者 603人	
主催	高知県書芸院/岡林御舟		

行事名 ちいさな蔵の展覧会2019春			
日・時	4月24日(水)～6月30日(日) 10:00～18:00 * 火曜休館 (入館は17:30まで)		<p>〈評価〉 「人物の表情、色使いなど感動した」「描いた絵の裏に日付と詳細を記しており、絵のモチーフに対する愛を感じた」等、作品に関する多くの感想をいただき、作品の魅力を伝えることができた。</p> <p>〈反省〉 入場者数が想定していたより少なく、開催期間の長さや関連イベントの併設等、調整が必要であると感じた。</p> <p>〈展望〉 県内で障がいのある作り手を紹介していく本企画をより多くの方に見ていただくために、広報活動を細やかに取り組んでいきたい。</p>
会場	藁工ミュージアム	入場者 413人	
主催	藁工ミュージアム/竹村利道		

行事名 高知ばら会春のばら展2019			
日・時	5月4日(土)～5日(日) 10:00～18:00 (最終日は16:00)		長いゴールデンウィークの最終の日程のため、例年の入場者数より減ってしまった。特に2日目に顕著に表れていた。報道関係の取材も例年より少なかったため、広報が充分に行き渡らなかった様に思われる。今後の展望として、花の出品数を増やす事や、一般の方に広く知っていただくための広告宣伝を、どの様な形でやっていくか議論していかなければいけないと思う。
会場	かるぽーと7階第4展示室	入場者 538人	
主催	高知ばら会/蒲原祥暢		

行事名 第43回さつき花季展覧会			
日・時	5月23日(木)～26日(日) 9:00～17:00 (最終日は16:00)		高知県さつき愛好会会員約60鉢出展。 県内県外の多くの鑑賞者および外国の方も来場、さつきの花の美しさに驚嘆。 さつき作りの相談、花後の剪定・植替えの実技講習をデッキにて行い大盛況。 生きた芸術を守るためにも会員の増加が不可欠。
会場	県立牧野植物園	入場者 約3,500人	
主催	高知県さつき愛好会/和田理康		

行事名 初夏のいけばな展			
日・時	6月15日(土)～16日(日) 10:00～18:00 (最終日は17:00)		年々、入場者が減少しておりますが、抜本的な解決策はなかなか見出せず苦慮いたしております。
会場	かるぽーと7階第1・2展示室	入場者 2,099人	
主催	高知県華道協和会/宮田速雄		

## 文芸部門

行事名 第49回総合文芸展				
日・時	4月30日(火)～5月5日(日) 10:00～17:00 (最終日は16:30)			<p>今年は短歌、俳句、川柳、詩、小説の各ジャンルから壁面展示作品が寄せられた。書籍や同人誌等は展示ケースでの閲覧だったが、手に取って閲覧可能なものは今年はテーブル展示とした。開催期間が10連休に重なり、入場者数は例年に比べてやや少なかったが、これは残念なところ。ただ、昨年から始めた、会場での投句・投首コーナーで、昨年を上回る50点以上の参加を得たことは勇気づけられる。来年は事前の情宣を強化してゆきたい。</p>
会場	かるぽーと7階第5展示室	入場者	325人	
主催	高知ペンクラブ/丁野貢一			

行事名 復刊70周年記念令和元年度帆傘川柳大会				
日・時	5月26日(日) 10:30～17:30			<p>①復刊帆傘70周年記念として、番傘川柳本社(大阪)からゲスト選者を迎えて、加えて大阪で活躍する県出身の柳人とあわせて2名の中央からの選者という豪華な大会になった。 ②その他に四国他3県の著名川柳家と高知県他柳社の責任者、あわせて7名の選者に帆傘川柳社から会長が加わった。 ③出席しない投句者39名を加えて、141名の川柳大会は県内としては最大規模の大会となった。 ④活発かつなごやかな中で大会は進行し、細かな点で課題は残るが、出席者に楽しんでいただける大会となった。 ⑤展示物も70周年にあわせて準備した。</p>
会場	高知会館	入場者	103人	
主催	帆傘川柳社/小笠原望			

行事名 第48回高知県俳句大会				
日・時	6月9日(日) 9:00～16:00			<p>県下各地から延べ110名の参加者を得て、募集句の表彰ならびに、当日句会が行われ盛会となった。ただ俳句愛好者の高齢化が進み、年次総参加者の減少が顕著で、若い年齢層を取り込む方が今後の課題。事前募集句は投句者175名、投句数927句であった。</p>
会場	こうち男女共同参画センター「ソーレ」	入場者	110人	
主催	高知県俳句連盟/山本呆齋			

行事名 第18回高知県漢詩大会				
日・時	6月22日(土) 13:00～17:00			<p>投稿された漢詩作品68首より、最優秀、優秀、佳作、入選作品を表彰。最優秀・優秀作品をスクリーンを使いナレーション・朗読を付し、朗詠し芸術的に披露。元NHKアナウンサー大川紀男氏に「日本語の美しさを探る」と題してご講演をいただくとともに、朗読の会「潮騒」の方に朗読を聞かせていただき、又ご来賓に吟詠を披露していただきました。他大会の入賞作品すべてをプログラムに掲載し、日本伝統の漢字文化芸術のすばらしさを総合的に披露、ご来場の皆様に魅力を理解していただけたと思う。若い年代層への普及浸透に努力し将来への振興を図りたい。</p>
会場	高知プリンスホテル	入場者	90人	
主催	高知県漢詩連盟/上本竹永			



## その他

行事名 第45回高知市長杯かるた大会			
日・時	4月7日(日) 10:00～16:00		今回の大会は、小、中、高校生の参加者が多く、活気のある大会であった反面、仕事などの関係で社会人の参加が少なかったのが残念である。 今後も活動を続けながら、大会の継続を図っていく。
会場	高知市南部健康福祉センター	入場者 57人	
主催	高知かるた会/吉本健二		
			A級優勝 赤井 靖雄 2位 玉岡 智博 3位 宮本 和明 3位 田中 大介

行事名 春の香の会			
日・時	5月11日(土) 13:30～15:30		宣伝不足と長期連休の後のため、出席予定の方の欠席があり残念に思いました。 できるだけ多くの方達に知らせて楽しんで欲しく思いました。 日本の伝統文化をすたれさせたくない思いです。
会場	県民文化ホール和室	入場者 28人	
主催	香道古心流 土佐伽羅の会/東條耀峰		

行事名 第23回三里春友会文化祭			
日・時	6月16日(日) 12:00～16:00 6月23日(日) 13:00～16:00		新グループを立ち上げて3回目になりましたが、毎年不安がありながら頑張っております。 長年続けていると、高齢化してしまい大変な事は沢山ありますが、皆で力を合わせ文化推進のために頑張り、三里文化祭の灯を消さないように努力精進したいと思っております。
会場	三里文化会館	入場者 240人	
主催	三里文化推進春友会/平石真知子		

行事名 「こども英語教室 ラボ・パーティ」の親子で遊ぼう！～絵本と手遊びの会～			
日・時	6月23日(日) 10:00～11:30		小学校英語が教科となることで、乳幼児を持つ家庭でも、英語教育への関心が高まっています。しかし、外国語を学ぶ前に、母国語をしっかり身につけることや、家庭で親子のコミュニケーションを取る事の大切さが、残念ながら忘れられていることに不安を抱き、今回の日本語による絵本と手遊びの会を開催しました。参加者は、絵本や手遊びを親子で楽しむことを大切にされている方ばかりでホッとしました。長年読み継がれている名作や、子どもたちに人気の名作、そして世界の名作など、7冊を取り上げました。1冊読むごとに、その絵本のエピソード・背景文化を伝えたり、手遊びにして身体を動かして遊んだりしました。エブロンシアターには、子どもたちが寄ってきて、迫力ある「がらがらどん」が披露できました。英語の会に比べ集客が減りますが、これを課題とし集客法を工夫しつつ、やはり根っこを育てる大切さを伝える日本語の会を、次年度も開催できるよう1年間準備していきたいです。
会場	県民文化ホール 第5多目的室	入場者 17人	
主催	高知ラボ・パーティ/岩本真理		

その他(2)

行事名		興行映画上映		
日・時	4月5日(金)～7月25日(木)			作品・入場者数の内訳&上映期間
会場	TOHOシネマズ高知	入場者	12,725人	(邦画) 「チア男子!!」 5/10～5/30 424名 「居眠り磐音」 5/17～6/20 1,100名 「空母いぶき」 5/24～6/27 4,984名
主催	高知県興行生活衛生同業組合/田原周素			(洋画) 「バイス」 4/5～4/25 342名 「ゴジラ キング オブ モンスターズ」 5/31～7/25 11,357名